

校長室だより

# 春日 (しゅんじつ)

校長 清武 直人

## 雨のち晴れ

子どもたちが楽しみにしていた歓迎遠足は朝から雨。リュックを背負って長靴を履き、傘を差して1年生が登校してきます。何とも胸が痛みます。

それでも、歓迎集会が始まると、6年生のユーモア溢れる歓迎の言葉に子どもたちの顔に笑顔が溢れます。春日公園には行くことができませんでしたが、6年生一人一人が1年生の手を引いて、体育館でゲームをしたり雨上がりの運動場で1年生を楽しませてあげたりしている姿を見ると、何とも心が温まります。

あっ。いつの間にか太陽が顔を出しています。1年生の心も晴れ！



## 夢

先日、「新1年生の就きたい職業」という記事が新聞に載っていました。今春小学校に入学する新1年生に対するアンケートの結果です。

女の子の1位は「ケーキ屋さん」、2位「芸能人」、3位「花屋さん」。男の子の1位は「スポーツ選手」、2位「警察官」、3位「テレビアニメキャラクター」といったぐあいで、それぞれ10位まで紹介されていました。

これを見ながら少々寂しい気持ちになりました。なぜかって、「小学校の先生」というのが見当たらないのです。

しかし、私は思いました。春日小学校の先生たちは、芸能人にもアニメのキャラクターにも決して負けてはいない。

いつか春日小学校の子どもたちにも将来の夢を尋ねてみよう。きっと「小学校の先生」がテレビアニメのキャラクターやケーキ屋さんと同じくらい競り合っていると思うのです。



PHOTO BY MIOTO

## 一回り大きめの制服

中学校の入学式に出席した。みんな一回り大きめの制服。一回り大きめの制服は成長への期待。子どもたちはあっという間にその期待に忘れてしまう。それならば子どもの夢にも一回り大きめの服を着せてみよう。一回り大きいぐらいがちょうどいい。

子どもの夢がその大きさに向かって広がってゆく。

## 5年生の約束

「何でもいい。1日一つパワーアップ」  
「当たり前のことを一生懸命」  
「みんなの力になるのが気持ちいい」

5年生の掲示板で目にした言葉です。なんて素敵な「約束」でしょう。1日一つ、全力で何かに向かうことができたならそれはもう最高の1日。

当たり前のことが当たり前でできるというのは結構難しく美しい。そして、人に尽くすことに喜びを感じることでできる人は、最高の人生を送ることができる。

5年生の成長に期待が膨らみます。